



B(2)③ 事務部門の国際対応・研究支援能力の強化



外国人研究者や留学生の入出国、日本に住むための諸手続及び日常生活に関する情報提供などを、自主経費で雇用した語学に堪能な(バイリンガル)職員とURAが支援する。
研究力強化に係る業務に取り組む事務職員に対して、国外の教育研究機関等で訪問調査等を行う機会を設けることで、国際対応能力を強化する。



本事業のポイント

外国人研究者等の支援のための、語学に堪能な職員の配置

サポートオフィスに語学に堪能な職員を配置し、外国人研究者や留学生の来日・帰国等に係る諸手続の代行や情報提供、マニュアルの整備等を実施している。

外国人研究者や留学生へのサポート

- 外国人研究者や留学生の来日・帰国等に係る諸手続の代行、情報提供を行う。
- オリエンテーションを年数回開催するほか、日常生活に関するハンドブックなどを作成、配布している。

学内事務担当者へのサポート

- 学内事務担当者を対象に、外国人研究者や留学生の受入事務に関する研修会・説明会を年数回開催する。
- 外国人研究者や留学生の受入に関するハンドブック等の冊子を作成、関係部局担当者等に配布している。



本事業の目指すイメージ

- 外国人研究者や留学生が、本来の目的である勉学・研究活動に集中できるように支援することで、本学の研究力強化につなげる。
- 研修会等を通じて、関係部局担当者の国際対応能力向上に貢献し、国際対応の事務体制強化につなげる。



教職員のための
留学生・外国人研究者
受入れハンドブック

事務職員の海外教育研究機関等への研修出張

事務系職員の国際対応能力(国際感覚や資質)の向上を図ること等を目的に、URAと連携して、海外教育研究機関等に研修出張する取組を実施している。

URA等との同行調査型

- URA等が企画した、海外の研究機関等における研究支援・産学連携に関する調査について、事務職員が同行し、最新の取組事例、研究内容等についての情報収集を行う。
- これまでに10か国以上の大学、研究機関等への訪問、AUTM(米国産学連携関係者団体)年次大会、INORMS(国際的な研究支援ネットワーク) Congress などへの参加実績がある。

調査内容提案型

- 事務職員が主体的に調査テーマを設定し、海外の大学や教育機関等での先進的な取組について、3~5名程度のチーム構成で調査を行う。
- 研修出張後は得られた情報を全学で共有する。

- 訪問調査により海外の現場を体感することで、個人の国際感覚の養成、資質の向上につなげる。
- 事務職員の能力強化をもって、研究の国際展開を支えるための学内の基盤環境整備につなげる。



研修出張の様子(INORMS2016(オーストラリア))